

## 第6章 稲荷地区の課題・問題点

稲荷地区の課題・問題点については、全体構想を策定する際に実施した市民意見募集においていくつかの意見をいただきました。そして、これまで4回開催した「稲荷地区交通バリアフリー移動円滑化基本構想策定連絡会議」（以下「連絡会議」といいます。）において数多くの意見をいただきました。また、連絡会議の下に設置した分科会により現地踏査（以下「現地踏査」といいます。）を実施し、JR稲荷駅や京阪伏見稲荷駅、準特定経路を主体とした道路などの実態を調査して、詳細な課題・問題点を抽出し、意見交換を行いました。

ここに、これらの概要として、主な課題・問題点及び改善要望などをまとめました。

### 1 駅の課題・問題点

以下の区分に基づいて、JR稲荷駅及び京阪伏見稲荷駅の課題・問題点及び改善要望などの概要を示します。

- ① 利用動線：段差解消の状況やエレベーター、エスカレーターの設置状況など
- ② 情報案内設備：誘導・警告ブロックの設置状況やホーム上での音声・文字情報案内の状況など
- ③ 利便設備：車いす対応型トイレや休憩設備（ベンチ、待合室）の設置状況など
- ④ 個別設備：券売機や改札口の状況など

この区分に基づくJR稲荷駅及び京阪伏見稲荷駅のバリアフリー状況を表一7に示します。

また、JR稲荷駅及び京阪伏見稲荷駅の課題・問題点マップを図一10、図一11に示します。

#### (1) JR稲荷駅

##### ① 利用動線

- (ア) 駅の出入口について、段差があり車いすでは利用できないのでスロープを設置してほしいとの要望があります。
- (イ) 改札口前、跨線橋及びトイレ前の階段について、車いすに対応していないのでエレベーターの設置等により改善してほしいとの要望があります。
- (ウ) 跨線橋の階段について、手すりの位置が低いので改善してほしいとの要望があります。
- (エ) トイレ前の階段について階段端が分かりにくく、段差が統一されていないところがあるので改善してほしいとの要望があります。

##### ② 情報案内設備

- (ア) 駅の出入口について、視覚障害者誘導用・警告用ブロックが入口から連続していないので整備してほしいとの要望があります。
- (イ) ホームについて、行き先案内表示がないので電光表示板を設置してほしいとの要望があります。
- (ウ) 下りホームについて、階段からの視覚障害者誘導用・警告用ブロックがないので設置してほしいとの要望があります。
- (エ) 跨線橋の階段の手すりについて、点字表示板の位置が悪く探すのに時間がかかるので改善してほしいとの要望があります。

(カ) 跨線橋の階段の手すりについて、点字表示板の「京都方面下り階段」は文字が長くて読みにくいので、もっと簡潔に改善してほしいとの要望があります。

### ③ 利便設備

(ア) 多機能トイレについて、スペースが狭く使用しにくいので広げてほしいとの要望があります。

(イ) 多機能トイレについて、非常時のための連絡ボタンを設置してほしいとの要望があります。

### ④ 個別施設

(ア) 券売機について、設置位置が高く車いすでは利用しにくいので改善してほしいとの要望があります。

(イ) 券売機について、車いすのための蹴り込みが小さいので改善してほしいとの要望があります。

## (2) 京阪伏見稻荷駅

### ① 利用動線

(ア) ホームへのスロープについて、手すりが連続して設置されていないので改善してほしいとの要望があります。

(イ) ホームへのスロープについて、手すりの位置が低く使いにくいので改善してほしいとの要望があります。

(ウ) ホームへのスロープについて、勾配がきついで改善してほしいとの要望があります。

### ② 情報案内設備

(ア) 上りホームへのスロープについて、点字構内案内板への視覚障害者誘導用ブロックを設置してほしいとの要望があります。

(イ) 上りホームへのスロープの手すりについて、手すりの点字表示板の位置が分かりにくいので改善してほしいとの要望があります。

(ウ) ホームについて、視覚障害者警告用ブロックのみで誘導用ブロックがないので設置してほしいとの要望があります。

(エ) ホームについて、案内放送に行き先や何両編成かを入れてほしいとの要望があります。

(オ) ホームについて、行き先案内表示がないので電光表示板を設置してほしいとの要望があります。

### ③ 利便設備

(ア) 上りホームのトイレについて、トイレの場所が分かりにくいので案内表示を改善してほしいとの要望があります。

(イ) 上りホームのトイレについて、階段を下りなくては使用できないので地上にトイレを設置してほしいとの要望があります。

### ④ 個別施設

(ア) 改札口について、車いす対応の幅広改札を整備してほしいとの要望があります。

(イ) 券売機について、設置位置が高く車いすでは利用しにくいので改善してほしいとの要望があります。

(ウ) 券売機について、車いすのための蹴り込みが小さいので改善してほしいとの要望があります。

表-7 JR 稲荷駅、京阪伏見稲荷駅のバリアフリー状況

鉄 道 名		西日本旅客鉄道（JR西日本）		京阪電気鉄道		
路 線 名		奈良線		京阪本線		
駅 名		稲荷駅		伏見稲荷駅		
駅 の 構 造		地上駅		地上駅		
1 日平均乗降客数(平成 17 年)		10,110 人		7,356 人		
最大段差	出入口～改札口（改札外）	0.28m		1.50m		
	改札口～プラットフォーム（改札内）	4.60m		-		
段差解消の状況	出入口～改札口（改札外）	○	すりつけ	△	スロープ（勾配 1/9～1/11）	
	改札口～プラットフォーム（改札内）	×	エレベーター，エスカレーター無し	○	段差無し	
情報案内設備	誘導警告ブロックの設置状況	○	券売機～改札口～プラットフォームに連続して有り（トイレへの誘導等，一部未整備）	○	券売機～改札口～プラットフォームに連続して有り（トイレへの誘導等，一部未整備）	
	ホーム上での運行情報設備	音声案内	○	有り	○	有り
		文字情報	×	無し	○	有り
	券売機に併設した点字料金表示	○	有り	○	有り	
利便施設	トイレ	◎	オストメイト対応多機能トイレ（改札口付近）	◎	オストメイト対応多機能トイレ（下りホーム）（上りホームは一般トイレのみ）	
	休憩設備	○	ベンチ有り	○	ベンチ有り	
個別設備	プラットフォーム	○	ホーム端の転落防止柵及びホーム上の警告ブロックが共に有り	○	ホーム端の転落防止柵及びホーム上の警告ブロックが共に有り	
	券売機	○	車いす対応（下部スペース）	×	無し	
	改札口	○	幅広タイプ（90 cm以上）	○	自動改札機無し通路	

図-10 JR 稻荷駅の課題・問題点マップ

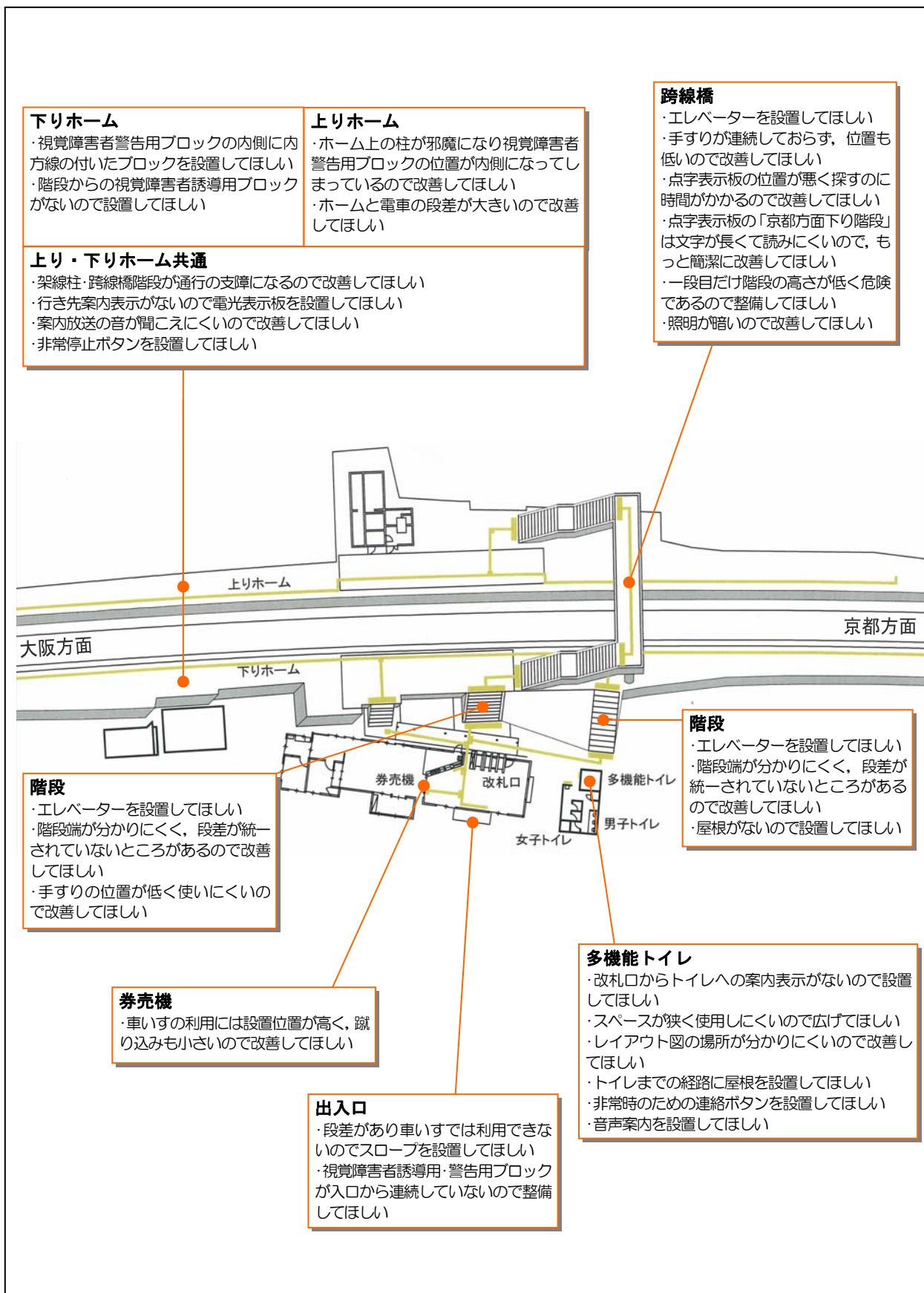
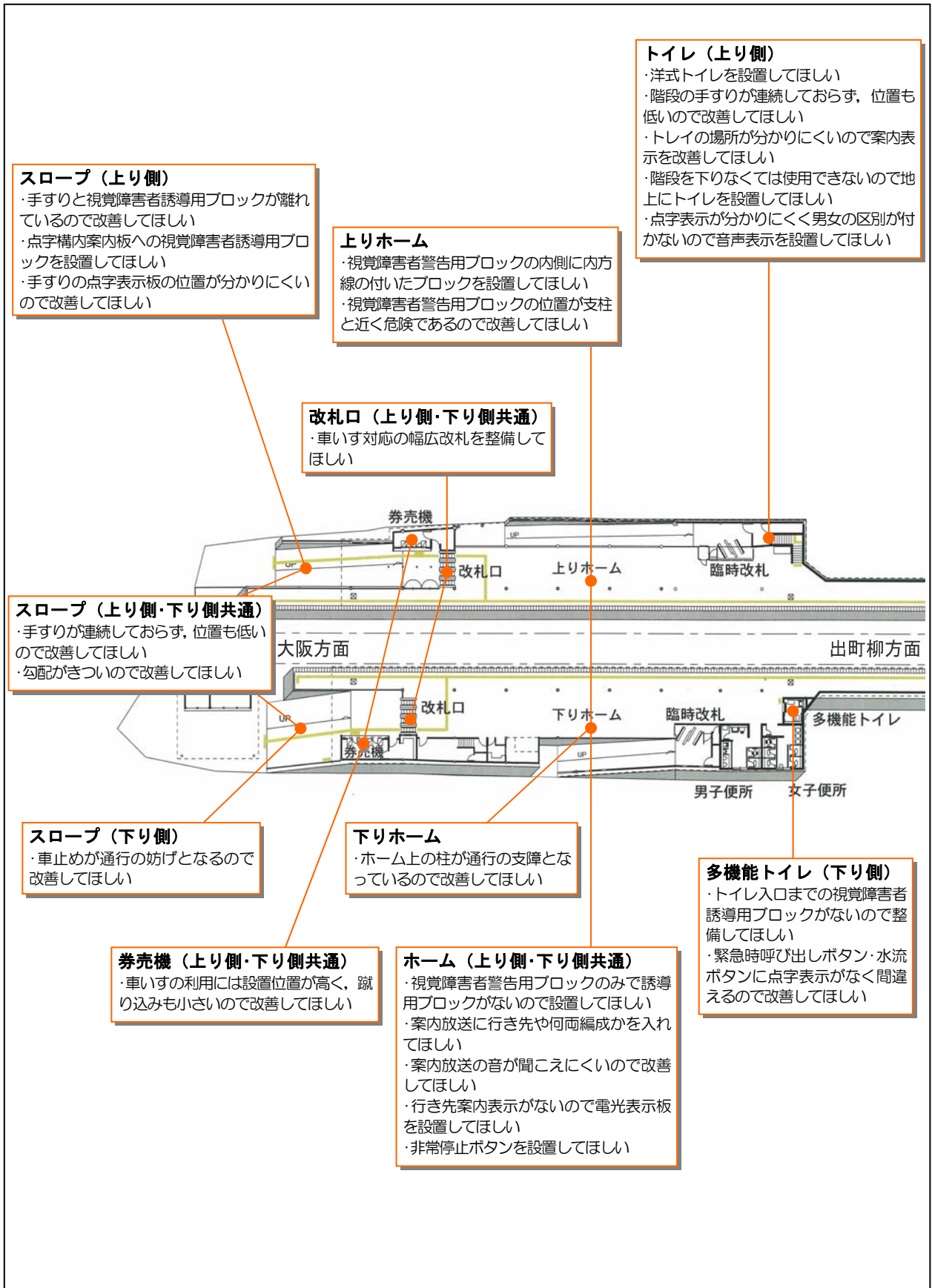


図-11 京阪伏見稲荷駅の課題・問題点マップ



## 2 周辺道路等の課題・問題点

以下に、道路等の課題・問題点や改善要望などの概要を示します。

### (1) 準特定経路Ⅰ（本町通）

歩道が整備されておらず、自動車に対して一方通行規制をかけているものの自動車の往来が多くなっています。分科会では、電柱、店舗の商品や看板のはみ出し、路上駐輪や路上駐車などがあり移動しにくいとの指摘がでています。また、自動二輪車が両方向通行可であることに對して、歩行者が安心して歩けないとの指摘がでています。

### (2) 準特定経路Ⅱ（稻荷新道）

歩道が整備されておらず、本町通と師団街道とを行き来する自動車の往来が多くなっています。分科会では、歩行者の歩く場所が明確になっておらず、電柱、店舗の商品や看板のはみ出し、路上駐輪や路上駐車などがあり移動しにくいとの指摘がでています。また、JRや京阪の踏切内についても凸凹も激しく、歩行者の歩く場所も明確になっていないとの指摘がでています。

### (3) 準特定経路Ⅲ（師団街道、第一軍道）

両側に歩道が整備されているものの有効幅員は2m未満の区間がほとんどとなっています。分科会では、歩道が狭く電柱や信号柱など通行の支障となるものがあり、横断勾配がきつい箇所もあるなど移動しにくいとの指摘がでています。また、交差点の信号機（警察学校北東角）に音響装置が設置されていないとの指摘がでています。

### (4) 準特定経路Ⅳ（稻荷新道）

一部で片側に歩道が整備されているものの、師団街道の手前には歩道がなく道路幅が急激に狭くなっている箇所があります。分科会では、歩道の中央に電柱があり、マンホールの囲い込みブロックによって歩道幅が狭くなっているなど移動しにくいとの指摘がでています。歩道のない箇所では横断勾配がきつく電柱が歩行者通行の支障になっていることや、道路幅が狭くなっている箇所では自動車の通行も多いため危険であるとの指摘がでています。

### (5) その他の道路

歩道の有無に関わらず、電柱や信号柱などの歩行者通行の支障になるものがある、舗装面が凸凹であるなどの指摘がでています。また、歩道のない道路では歩く場所が明確になっておらず、路上駐輪や路上駐車が歩行者通行の支障となっているとの指摘がでています。さらに、一般国道24号では、信号機に音響装置が設置されていない交差点がある、一部区間で防護柵の設置が適切でないために歩道幅が狭くなっているとの指摘がでています。

図-12 道路などの課題・問題点マップ

